

県中農林 ニュース

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

第30号

令和4年12月13日発行

編集・発行 福島県県中農林事務所



新米の季節です。

写真は、石川町中田地区の「なかだにほんぶなの棚田たなだ」（左）と、そこで収穫された「たなだにほんぶなのたなだ米まい」（右）です。

「にほんぶなのたなだ米」は石川町の一般社団法人ひとくらすで販売しています。お米は品種や産地によって特徴があるので選ぶときに迷ってしまいますね。

○ 特集	P.1
○ 農林業関係の動き	P.2-7
○ 県農林水産土木工事の優良工事受賞者紹介	P.8
○ GAP 取得者紹介	P.9
○ おいしい6次化商品	P.9
○ 永年勤続表彰職員 30年の振り返り	P.10
○ お知らせ	P.11

特集

福島県農業賞受賞者を御紹介します！

企画部

9月2日に、杉妻会館（福島市）において、第63回福島県農業賞の表彰式が開催され、今年度の農業賞（農業十傑）として農業経営改善部門8件、新規就農部門1件、復興・創生特別賞1件を受賞しました。県中管内からは、影山和雄さん・美津江さん御夫婦が農業経営改善部門（※）を受賞され、知事から表彰状が手渡されました。

影山御夫婦は、郡山市逢瀬町で水稻の大規模経営を営んでおり、ほ場の集約化や大型機械の導入により作業効率の向上を図られたことが高く評価されました。

農産物の安全認証制度「GAP」の取得を目指すなど、徹底した品質管理はもとより、農作業の事故防止にも積極的に取り組んでおられます。

今回の受賞を機に、今後ますますの御活躍が期待されます。

※農業経営改善部門は、経営内容が計画的であり、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体（法人を除く）及び農業法人に贈られる賞です。



左から影山和雄さん・内堀知事・美津江さん

農林業関係の動き（トピックス）

県中地方フラワーネットワークによる「花きほ場視察研修会」を開催しました！ 農業振興普及部

県中地方の魅力ある花き品目を地域の関係者に知ってもらい、花きの利用促進につなげていくため、7月21日に花き利用施設、生花店、流通機関、生産者からなる「県中地方フラワーネットワーク」を設立しました。ネットワークの最初の活動として、9月5日に会員の地元産花きへの理解を深めるため、「花きほ場視察研修会」を開催しました。

研修会では、郡山市、田村市、須賀川市の全6ほ場を視察し、生産現場の情報が花き利用者側に伝えられました。また、花を取り扱う方々からは、生産現場を見た感想や花材として使うための意見が出されました。

今後も県中地方の花きの魅力を関係者で共有し、利用の促進を図るため、フラワーネットワーク活動を進めてまいります。



「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」開催中です！

農業振興普及部

農業の基礎的な知識や技術の習得を目的に、新規就農者等を対象とした研修会「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」を5回シリーズで開催しています。

1回目は6月8日に病虫害防除の基礎となるポイントについて学びました。

2回目は9月15日に、先輩農業者であり全国指導農業士連絡協議会会長の鈴木光一すずきこういちさんを講師に、就農に至るまでの経緯や経営をどのように発展させてきたかについて、現地研修を交えご講演いただきました。

今後も新規就農者等の農業経営の発展に向け、研修会や巡回支援を行ってまいります。



フレッシュ農業講座を開催しました！

田村農業普及所

9月15日、県立小野高等学校の産業技術系列コース2年生8名を対象に、フレッシュ農業講座を開催しました。

今年度は、田村農業普及所管内において、サツマイモ栽培と6次化に取り組んでいる指導農業士と小野町にUターンシコマツナ栽培に取り組んでいる新規就農者を訪問して、「職業としての農業」をテーマに、農業の魅力や職業選択の心構えについてお話を伺い、意見交換を行いました。生徒からは、地域における農業の役割や農業で生計を立てるまでの苦労について質問があり、講話や意見交換を通じて、農業への興味を深める講座となりました。



「農作業事故ナシよ!」キャンペーンを開催しました!

農業振興普及部

9月22日、JA福島さくら農産物直売所「あぐりあ」(郡山市)と「ふあせるたむら」(田村市)において、「秋の農作業安全運動推進期間」と「秋の全国交通安全運動」に合わせ、事故防止の啓発キャンペーンを開催しました。

当事務所を始め、JA福島さくら、郡山警察署、田村警察署より、直売所の来場者へ郡山市熱海産の日本なし「豊水」400個とチラシを配布し、「事故無し」を啓発するとともに郡山市産日本なしの魅力アピールしました。



「事故無し」にかけて来場者へ日本なしを配布する大波県中農林事務所長

「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーン 農林水産物 PR (第2回&第3回) を開催しました!

企画部

県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーンを実施しました。

第2回は9月24日に開成マルシェ(郡山市)内で実施し、アンケート等に回答された方先着200名に郡山市熱海産の日本なし「豊水」をプレゼントしました。

第3回は11月6日に県北農林事務所と合同で、福大農場フェスタ(福島市)内で実施し、地産地消の紙芝居・アンケート等に回答された方先着100名に、昨年本格デビューをした県トップブランド米「福、笑い」をプレゼントしました。

「これからは積極的に地元の野菜を購入したい」などの声が聞かれ、各回とも好評のうちに終了しました。



開成マルシェでのPR



福大農場フェスタでのPR

「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーン 県中地方特産品等プレゼント(第1期)抽選会を開催しました!

企画部

県産農林水産物のおいしさや安全性をPRし、県産農林水産物の消費拡大と地産地消を推進するため、県中管内の21常設直売所において、お客様を対象としたプレゼントキャンペーンを行いました。

9月28日に第1期分の抽選会を大波県中農林事務所長の抽選により、応募者413名(1,370口)から当選者30名を決定しました。当選者へは鯉カレーなどの「県中地方特産品詰め合わせ」をお送りしました。

また、管内4方部(各方部1店舗以上)でお買い物をした方へは、きゅうりリゾットなどの6次化商品をお送りしました。

たくさんのご応募をいただき、ありがとうございました。



当選者が決定しました!



プレゼントした 県中地方特産品詰め合わせ

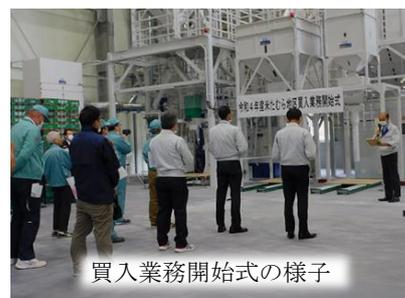
令和4年産米たむら地区買入業務開始式が行われました！

田村農業普及所

9月28日、JA福島さくらたむら統括センターの米買入業務開始式が田村市の「田村市米流通合理化施設（都路低温農業倉庫）」で開催されました。

式には、JA福島さくらたむら統括センター、JA全農福島、農産物検査員、田村農業普及所が出席しました。JA福島さくらの蒲生幸夫代表理事専務より、買入目標79,000俵の達成に向けて、買入業務開始が宣言され、厳正・円滑な農産物検査業務の実施についての注意喚起と、買入業務中の事故防止を祈願しました。

令和4年産のたむら地区の水稻は、概ね平年並みの収量が見込まれています。JAで集荷された米は、10月中旬から田村市内の直売所へ出荷開始され、今後、県内外へも出荷される予定です。



買入業務開始式の様子



農産物検査の様子

あさかそすい 安積疏水通水 140周年記念式典が開催されました！

農村整備部

安積疏水通水140周年記念式典が10月1日に開催されました。約250名が出席し、安積疏水土地改良区の横田泰和第1副理事長の式辞の後、大波県中農林事務所長（知事代理）が「先人の知恵と偉業を長く継承してこられた、関係者の皆様のご尽力に、深く敬意と感謝の意を表します。」とお祝いの言葉を述べました。また、安積疏水の設計をしたファン・ドールンの母国オランダのテオ・ペータス駐日公使らが祝辞を述べました。

安積疏水は、猪苗代湖の水を現在の県中地域に導く国直轄事業として1879年に着工し、事業費10万7千円（現在の価値で約400億円）が投入され、1882年に全長130kmが完成しました。今も水道をはじめ農業、工業、発電の用水として多目的に利用されています。



安積疏水通水140周年記念式典



平成28年4月に、安積疏水事業「未来を拓（ひら）いた『日本の水路』」は文化庁の日本遺産に認定され、同年11月には「世界かんがい施設遺産」に登録されました

安積疏水土地改良区についてはこちらをご覧ください。→<http://www.asakasosui.jp/>

農村環境アドバイザーの「生き物調査」に同行しました！

農村整備部

10月3日に、浅川町荒屋郷地区農村環境アドバイザー（※）の生き物調査に同行しました。これは、ほ場整備調査地区である荒屋郷地区の事業計画に対して、環境に関する助言を行うための調査で、町職員を加え総勢6名で実施しました。

カワナ・ガムシ・ドジョウ・カエル・ヤゴ等を採取し、自然と共生する田園環境を創っていくには、どう事業計画を作成すべきか、改めて考える機会となりました。

なお、今年度の県中管内の生き物調査は、計13箇所で行われています。

※農村環境アドバイザーとは、農業農村整備事業に対し「環境への配慮」等に関して助言を行う方で、市町村長の推薦により県が選任しています。



生き物観察（ドジョウ）



生き物調査

10月14日、郡山市の安積疏水土地改良区において、水土里ネット福島県中支部管内の新人職員、当事務所若手職員を対象とした研修会が開催され、約20名が参加しました。

研修会では、当事務所の西牧農地計画課長と農村整備課渡邊主査が、それぞれ「農業農村整備事業における補助事業について」、「ほ場整備事業における ICT 施工の取組について」と題し、講義を行いました。更に、伊達西根堰土地改良区石川博利事務局長が「土地改良区管理施設を利用した活用事例について」、水土里ネット福島富田秀樹施設管理課長が「土地改良施設の管理と適正化事業について」と題した講義を行いました。

参加した職員は、農業農村整備事業への理解を深めたようでした。



県中支部管内新人職員研修

石川地方植樹祭が玉川村で開催されました！

森林林業部

10月20日、玉川村のクックドームたまかわにおいて、国土緑化石川地方推進委員会と福島森林管理署白河支署の主催により、石川地方植樹祭が開催されました。

本植樹祭は、令和4年度緑化運動テーマ「植えようみどり めざせカーボンニュートラル」のもと、森林づくりの意識醸成を目的としています。

緑豊かな古里を願い、代表者によるベニシダレザクラの記念植樹と、参加者155名によるコブシとサザンカの一般植樹が行われました。植樹活動には認定こども園「たまかわクックの森」の園児も参加し、2人1組でサザンカの植樹を行いました。園児たちはスコップ片手に協力しながら元気いっぱい植樹活動を楽しんでいました。



代表者による記念植樹



園児による植樹

「震災からの復興途上の双葉地方」を視察研修しました

総務部

10月21日、当事務所職員10名で、東日本大震災（以下、震災）からの復興途上にある双葉地方の視察研修を実施しました。

まず、川内村に昨年完成した「かわうちワイナリー」を訪問し、遠藤マネージャーから、震災後に新たな村の特産品としてぶどうを栽培しワインの製造・販売に至るまでの道のりをお話いただきました。遠藤マネージャーの新しい産地づくり、むらづくりを目指す姿勢に感銘を受けました。

次に、双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」と浪江町の「震災遺構施設・旧請戸小学校」を視察し、震災被害の甚大さを改めて認識する機会となりました。

職員が震災からの復興業務を進める上で復興途上の地区を視察することは大切なことですので、今後も同様の取組を進めてまいりたいと考えています。



ぶどう栽培ほ場で遠藤マネージャー（左端）から話を聞く職員



ワイナリーで醸での蓋掛けを体験しました

福島県きのご品評会が開催されました！

森林林業部

10月21日、福島県林業研究センターにおいて、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の主催により、福島県きのご品評会が開催されました。

生しいたけの部（原木栽培部門、^{げんぼく}菌床栽培部門）、乾しいたけの部、なめこ・ひらたけの部に、県内の生産者から計104点の出品があり、県中管内からは大野一宏さんをはじめとして、下記の方々が入賞されました。入賞された皆様おめでとうございます。また、出品に御協力いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



	表彰	受賞者（敬称略）	市町村
生しいたけの部 （原木栽培部門）	林野庁長官賞 	箭内幸一	田村市
	福島県知事賞	横田富夫	郡山市
	福島民報社代表取締役社長賞	吉川政善	郡山市
	全国農業協同組合連合会福島県本部長賞	小野 勲	小野町
生しいたけの部 （菌床栽培部門）	農林水産大臣賞 	大野一宏	天栄村
	福島県知事賞	佐治卓郎	郡山市
	全国農業協同組合連合会福島県本部長賞	愛椎ファミリー	郡山市
なめこ・ひらたけの部	福島県知事賞	安田潤一	郡山市
	福島県森林組合連合会代表理事会長賞	（有）鈴木農園	郡山市

高校生林業見学会を開催しました！

森林林業部

10月24日、福島県立岩瀬農業高等学校の環境工学科1年生25名を対象に、森林整備や木材加工の現場を体感する見学会を開催しました。

まず、林業アカデミーふくしま（郡山市）では、研修棟（講義室、ハーバスタシミュレーター室など）や実習棟を見学しました。次に、高性能林業機械を活用した素材生産現場（小野町）や高性能機械を活用したチップ生産工場（玉川村）の見学を行い、株式会社アメリカ屋の鈴木専務に具体的な現場作業の流れや各設備について説明いただきました。

高校生からは「林業の機械がかっこいい」「林業機械で伐採できるとは思わなかった」などの感想があり、生徒にとって、森林・林業への理解を深め、将来のキャリアを考える上で参考になったようでした。



須賀川地域指導農業士会研修会が開催されました！

須賀川農業普及所

11月2日、須賀川地域指導農業士の技術や経営の向上を図る研修会が開催され、指導農業士会の新会員である廣田克彦^{ひろたかつひこ}さんの農業経営を視察しました。

廣田さんは、花き+日本なし+水稻の複合経営で、年間通して安定した営農を行っています。花きは、ユキヤナギ、ウインターベリー（西洋ウメモドキ）等を栽培しており、JA夢みなみすかがわ岩瀬地区^{かき}花卉部会ユキヤナギ班の班長も務めています。

通常、ユキヤナギは、収穫した枝を水に挿して開花を促進する「切り枝促成^{そくせい}」で出荷しますが、須賀川では、株ごと掘り上げ、施設内で加温して開花を促進する「株入れ促成」をしており、花付き、花持ちが段違いに優れているのが特徴です。参加者からは、実際にほ場を見ながら次々と質問が出され、大変有意義な研修会となりました。



説明をする廣田さん



ユキヤナギの掘り上げ体験

県中地方・地域産業6次化ネットワーク講演会を開催しました！

企画部

11月10日、6次化に必要なマーケティングと販売促進の視点を学ぶため、県中地方・地域産業6次化ネットワーク講演会をオンラインで開催しました。

(株)こらぼたうん代表取締役の中間祥二^{なかつましようじ}さんから「生活者視点で変わる6次化の未来」を、(株)スペースワン販売企画部長の野崎さくら^{のさき}さんから「販促ツールの制作に必要な視点」をテーマに講演いただき、大企業と同じ土俵では戦わないという中小企業ならではの戦略や、相手や場面によって販促ツールを使い分ける必要性について学びました。

参加者からは、今後の6次化につなげていきたいとの声をいただきました。



事務局会場

就農相談会「ふくしま農業人フェア in 郡山

×ふくしま・ど・真中就農促進フェア」を開催しました！

農業振興普及部・田村農業普及所・須賀川農業普及所

11月20日、郡山市のビッグパレットふくしまで、県中地域就農相談会を開催しました。

相談会には、自営での就農を目指す方や法人での雇用を希望する方、農業に関心がある方など133名が来場し、会場は熱気に包まれていました。参加者は、会場に設置された25ブースを幾つも回るなど、就農のために必要な農地情報の収集や技術習得の進め方、法人が営む農業の特徴や雇用条件などの説明に熱心に耳を傾け、就農に向けた理解を深めていました。

当事務所では新規就農を希望する方からの相談を常時受付しておりますので、お気軽にご相談ください。



就農相談の様子

【農業振興普及部：024-935-1310 田村農業普及所：0247-62-3113 須賀川農業普及所：0248-75-2180】

県農林水産土木工事の優良工事受賞者紹介

9月9日、福島市内の杉妻会館で令和4年度福島県優良農林水産土木工事の表彰式が行われました。これは、県農林水産部が発注した工事のうち、出来映えや現場の体制、創意工夫などの観点から、他の工事と比べて優秀な工事を表彰するものです。

当事務所管内から2事業者が受賞しましたので御紹介します。

株式会社小浜組（農山村施設部門）

農村整備部

株式会社小浜組は、古殿町松川地内の「鎌倉岳及び三株みどりの風公園」の交流施設整備において、管理道路と兼用の散策道のアスファルト、コンクリート及び環境に配慮したセメント系木質による舗装工事を実施しました。舗装幅は2m以下と狭く、施工延長が長く、かつ急勾配で、非常に厳しい現場条件でしたが、細やかな使用機械の選定と施工手順の提案、更には公園を代表する「三株の山桜」を保護するための計画の見直し等、積極的な工事への対応により、極めて優秀な品質と出来ばえの確保につながりました。また、工事期間中、一般者や登山客が利用する約2.2kmの道路の草刈りなどを行うなど、地域への社会貢献活動も高く評価され今回の受賞にいたりしました。



三株みどりの風公園内の管理道路兼散策道舗装（セメント系木質舗装）



内堀知事から表彰状を授与される小浜代表取締役

株式会社赤羽組（林道部門）

森林林業部

株式会社赤羽組は、林道「戸渡藤沼線（須賀川市勢至堂地内）」の舗装工事にあたり、標高が約650mと高く冬期間は寒冷地であるため、施工時期に制限があり、また、急勾配や急カーブが連続する厳しい施工条件、かつ、アスファルトの種類や路面勾配などの変化点が多い設計条件にもかかわらず、舗装機械の細やかな調整やアスファルト材の適切な管理を行うなど丁寧な補設作業の結果、舗装工の品質や出来映えが高く評価されるとともに、環境への配慮や社会貢献活動についても高く評価され、今回の受賞にいたりしました。

なお、戸渡藤沼線（延長 14,300m）は、平成2年度から開設工事が行われ、令和3年度に完成した路線であり、須賀川市の森林整備等の基盤として活用されます。



林道「戸渡藤沼線」（林道舗装工事）



内堀知事から表彰状を授与される赤羽代表取締役

GAP 取得者紹介

須賀川農業普及所

10月5日、須賀川農業普及所でGAP 認証書の交付式を行いましたので、取得者を御紹介します。

- ①取得者名（市町村）
- ②GAPの種類（取得した品目）
- ③取得者から一言

- ①夢みなみ農業協同組合すかがわ岩瀬地区野菜協議会大東支部直販部会【18名の団体認証、代表者：水野正仁みずの まさひと部会長】（須賀川市）
- ②FGAP（きゅうり）
- ③「GAPを取得し、個々の経営の見直しに繋がっている。」



FGAP 認定書交付式後
左から大橋須賀川農業普及所長、熊谷部会長、水野部会長、関根部会長、JA大東支店橋本氏

GAPの種類

GLOBAL G.A.P. : 国際的に広く適用する第三者認証GAP
ASIA GAP : 日本発の国際基準認証
JGAP : 日本のデファクトスタンダードのGAP
FGAP : 福島県が創設した公的認証GAP

おいしい6次化商品

グルテンフリーお米のパン工房穂鹿ほか（天栄村）のパンとお菓子

企画部

グルテンフリーお米のパン工房穂鹿では、自家生産したお米を使ってパンとお菓子を作っています。もちっとした食感の食パンや、サクッと甘いクッキー、自家製農産物を使った食べ応えのあるマフィンなど、種類が豊富です。

小麦・卵・乳製品を使用していませんので、これらのアレルギーのある方にもおすすめです。

商品は、JA夢みなみ農産物直売所「はたけんぼ」や、道の駅「季きの里天栄さとてんえい」で購入できるほか、ネット注文も可能です。是非味わってみてください。



ギフトセットも販売しています



HP → <https://hatayafarm.official.ec/>

Instagram → [@hoka_rice_bread](https://www.instagram.com/hoka_rice_bread)

県農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400のネタばらし」でも紹介しています。

<https://www.youtube.com/channel/UCqP88J0qCub5659DrEfz2sw>



永年勤続表彰職員 30年の振り返り

11月30日と12月2日に、当事務所の永年勤続職員（勤続30年の職員）に対して、大波県中農林事務所長から表彰状を授与しました。所長からは、お祝いの言葉とともに「残りの県職員人生で、皆様の卓越したスキルを後輩につないでください。」と、エールが送られました。

また、表彰状を授与された5名から、今まで支えてくれた県民や職場の同僚、家族への感謝が述べられました。



左から、大波県中農林事務所長、高萩さん、大橋さん（2名とも須賀川農業普及所）
(R4. 11. 30)



前列左から、西牧さん（農村整備部）、大河内さん（農業振興普及部）、嶋根さん（企画部）、大波県中農林事務所長 (R4. 12. 2)

表彰された5名から、思い出の写真とコメントをいただきました。



企画部 嶋根 祥子さん

農業短大勤務時代に購入したバラを挿し木で育てました。毎年綺麗な花を咲かせてくれるので元気を貰っています。



農業振興普及部 大河内 栄さん

勤続30年、主に花き産地の振興に努めてまいりました。



農村整備部 西牧 宏和さん

令和5年度から防災工事の着手を予定している郡山市「枇杷沢池（下）」地区の円滑かつ着実な実施に向けて尽力しています。



須賀川農業普及所 大橋 金光さん

福島県のキュウリ産地振興に頑張りました！
～美味しいキュウリ是非ご賞味ください～



須賀川農業普及所 高萩 淳子さん

平成20年度から23年度まで勤務した農業短大時代の教え子が、石川町で和牛繁殖経営をしています。その牛舎で撮影しました。

お知らせ

県中地方産農産物の出荷制限解除及び出荷制限品目について

企画部・森林林業部

県では、食品の安全性を確認するため、農産物直売所等に出荷される農林水産物について、事前に緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。

令和4年9月15日に天栄村のふき（野生）が、9月29日に阿武隈川（支流含む）のウナギが出荷制限解除となりましたのでお知らせします。天栄村のふき（野生）の出荷を希望する方は、事前に登録が必要となりますので、当事務所森林林業部林業課（024-935-1367）に連絡をお願いします。

なお、下表にある県中地方の農林水産物は出荷制限が続いています。出荷、販売、譲渡することのないようお願いします。

（県全域のモニタリング情報については、こちらのホームページをご確認ください。）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/mon-kekka.html>

区分	種類	市町村名
山菜	くさそてつ（こごみ）	郡山市、田村市、三春町
	たけのこ	郡山市、須賀川市、田村市、天栄村、三春町
	ぜんまい	郡山市、須賀川市、田村市
	たらのめ（野生）	郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、古殿町
	こしあぶら	県中管内全市町村
	うわばみそう（野生）	須賀川市
	うど（野生）	須賀川市
きのこ	原木しいたけ（露地）	田村市（福島第一原発20km圏内に限る）
	野生きのこ（県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるまつたけを除く）	県中管内全市町村
水産物	阿武隈川（支流含む）のヤマメ（養殖を除く）、郡山市のドジョウ（養殖）	

肥料価格高騰対策事業のお知らせ

農業振興普及部

肥料価格高騰による農業経営への影響を緩和するため、化学肥料の2割低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費を下記のとおり支援します。

具体的な内容は、当事務所農業振興普及部農業振興課（024-935-1307）へお電話ください。

支援対象	令和4年6月から令和5年5月までに購入した肥料（本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料）
支援内容	化学肥料低減の取組を行う農業者に対して、肥料コスト上昇の7割を支援
申請に必要な書類	本年秋肥（令和4年6月～10月に注文）及び来年春肥（令和4年11月～令和5年5月に注文）の購入費がわかるもの（注文票、請求書、領収書など）
申請時期	■ 1回目申請（秋肥分） 令和4年10月28日（金）～令和5年1月末（予定） ■ 2回目申請（春肥分） 未定 ※確定次第お知らせします。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021d/hiryou-koutou-taisaku.html>



【編集・発行】福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号 電話 024-935-1510 FAX 024-935-1314
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/>

